

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 コヤマ					
代表者名	氏名	百瀬 真二郎		役職名	取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野県長野市川中島町原 1 1 1 1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	鋳鉄鋳物製造					
制度に該当する要件	☒	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☐	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	28,692	27,831	26,675		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	61,795		57,966		
	調整後排出量	t-CO ₂	61,795	59,941	57,966	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	11		11		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	13				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2023	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

☐	ホームページ	本社・川中島工場 8：00～19：00 第一製造部 設備管理課（026-292-2700）
☒	印刷物の閲覧	
☐	その他	

様式 1 号
(総括票)

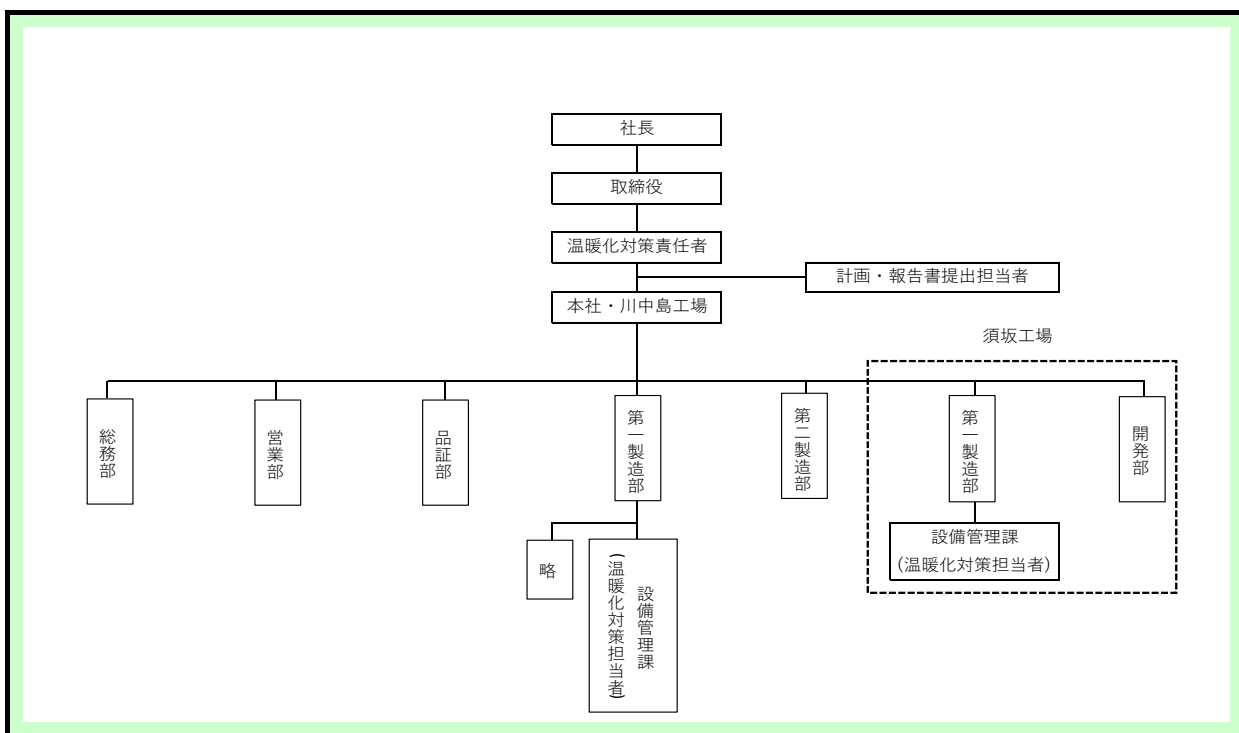
4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

株式会社コヤマ環境方針に基づき、環境改善活動を通じて地球温暖化防止対策の推進を図ります。
※別紙弊社環境方針参照願います。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	CO2排出量50%削減（2013年度比）
削減計画の概要	・2030年 CO2排出量△50%（対2013年比） ・2050年 CN達成					
イニシアチブ参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言	RE Action	☐ その他	

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

月例経営会議 1 回／月
省エネ委員会 1 回／月

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	61,795	t-CO ₂	溶解重量	98.41	単位	千t
2022年度	調整後排出量	61,795	t-CO ₂	基準原単位	627.91	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	59,941	t-CO ₂	目標原単位	609.07	t-CO ₂ /	千t
2025年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法により掲げられている目標に則し、年平均1パーセント以上低減させることを目標とした						
第一年度	排出量	57,966	t-CO ₂	溶解重量	88.49	単位	千t
	削減率	6.19	%	原単位	655.05	t-CO ₂ /	千t
2023年度	調整後排出量	57,966	t-CO ₂	原単位削減率	-4.33	%	
	削減率	6.19	%				
排出量等の増減理由	生産重量（溶解重量）が減少したことで排出量自体は減少しているが、保全設備等の固定エネルギーがあることで、原単位の悪化につながっている。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	溶解重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	溶解重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	13	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	一般管理事項	生産工程のエネルギー管理	2023～ 2025			
2	エネ起	工業炉	排ガスの排熱回収による乾燥	2023		2023	
3	エネ起	受変電・配電設備	変圧器の負荷の統合	2024～ 2025			
4	エネ起	コンプレッサ	コンプレッサ運転台数の自動制御装置の導入	2023～ 2024			
5	エネ起	ファン・ブロア	ファン・ブロアに係るその他の削減対策(新規集塵機導入時のインバータ・ベーンダンパー制御)	2024			
6	エネ起	工業炉	工業炉に係るその他の削減対策(溶解炉導入時の溶解効率アップ)	2023		2023	
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	739	0	739		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0	0		
FIT非化石証書	千kWh/年	0	0	0		
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年	0	0	0		
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年	0	0	0		
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	0	0	0		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	60,163	2	56,413				
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	1,632	1	1,552				
合計	3	61,795	3	57,966				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	0	0		
合計	0	0	0	0
自動車総数	11	11		
次世代自動車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利便促進	特になし
自転車の利便促進	特になし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	特になし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	特になし
物流の合理化	特になし

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☐	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
☒	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	2000年
☐	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
☐	ZEB	の認証を取得している	
☒	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	2022年度
☐	その他		

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

コヤマ独自で、廃菌床等の木質バイオマス原料を使用し、石炭コークス代替燃料となるバイオブリケットを製造し、社内活用を進めている。

環 境 方 針

1. 当工場の製品の製造及びサービスにかかわる地球環境の向上と
企業活動を調和させ、継続的改善及び汚染予防を推進する。
2. 関連法規及び当工場が同意した協定等を遵守する。
3. 当工場の環境負荷の事前把握・自主管理と基準の積極的な設定に
より、環境目的・目標を定め、工場全体での継続的な環境保全活
動を推進する。 この環境目的・目標は、定期的に見直し、必要
に応じて改訂を行う。

主な取り組み

- (1) 省エネルギー・省資源活動により天然資源の保護に努める。
 - (2) 廃棄物の低減、リサイクルに努める。
 - (3) 循環型社会の形成に努める。
4. 当社で働く又は当社のために働くすべての人に対し、本方針が実行
維持するように環境教育を実施し、本方針の理解・周知と環境意
識の向上を図る。
 5. この環境方針は外部からの要求に応じて開示する。

2022 年 11 月 17 日

株式会社 コヤマ

代表取締役社長 百瀬 真二郎